



2023年

2月

中国四国農政局
徳島県拠点

消費者団体等とのパネルディスカッションの開催

令和5年2月9日、徳島グランヴィリオホテルにて、徳島有機農業フェアの取組の一環として消費者団体等とのパネルディスカッションを中国四国農政局、消費者庁及び徳島県の共催で開催いたしました。

会場参加とウェブ参加のハイブリッド開催で、会場参加74名、ウェブ参加53回線の参加がありました。

まず中国四国農政局徳島県拠点の清水地方参事官から開会挨拶があり、その後、共催者を代表して徳島県の勝野副知事からご挨拶をいただきました。



清水地方参事官の開会挨拶



会場の様子



コーディネーター及びパネラーの皆様

催しは二部構成で行われ、第一部では、中国四国農政局の及川次長から「有機農業をはじめとする持続可能な農業の確立」、消費者庁の相本次長から「エシカル消費に関する消費者庁の取組」について話題提供がありました。

第二部では「有機農産物をエシカル消費で支える」をテーマに、パネルディスカッションが行われました。パネルディスカッションは、コーディネーターの進行のもと、パネラーの皆様それぞれの立場から様々なご意見をいただきました。

会場参加者からは、「生産だけでなく販売・消費の立場から意見を伺えてとても参考になった。」「県内に有機農業を頑張っている人がいてうれしい。買って応援したい。」等の感想がありました。

徳島県庁における有機農業に関するPRパネルの展示

有機農業への関心を高めていただくために、令和5年2月6日（月）～2月10日（金）の5日間、徳島県庁の1階ロビーにおいて、有機農業・有機農産物のパネル展示を行いました。



「2022年の農林水産物・食品の輸出実績」について

農林水産省は、「2022年の農林水産物・食品の輸出実績」を取りまとめました。2022年の農林水産物・食品の輸出額は、過去最高の1兆4,148億円となり、2021年比では14.3%の増加、額では1,766億円の増加となりました。

また、2022年12月の農林水産物・食品の輸出額は、単月で過去最高の1,308億円となりました。

○概要

農産物、林産物、水産物及び少額貨物それぞれの実績は、以下のとおりです。

農産物：8,870億円（対前年比+10.3%）

林産物：638億円（対前年比+11.9%）

水産物：3,873億円（対前年比+28.5%）

少額貨物：767億円（対前年比+1.5%）

より詳しいデータは、当省ホームページで「農林水産物輸出入情報」として公表しています。注：今後、財務省が公表する確定値により変更されることがあります。（農林水産物輸出入情報（農林水産省HP））

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/index.html#m1>

◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 徳島県拠点

〒770-0943 徳島市中昭和町2丁目32

TEL (088)622-6133(内線403) <農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>